

式 辞

春の息吹を感じる今日の佳き日に、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、第一二五回卒業証書授与式を挙げていきますことを心より御礼申し上げます。

さて、卒業生七十五名のみなさん、卒業おめでとう。今、皆さん一人一人の小学校卒業の時の想いを込めた言葉を聞きました。ジーンとききました。小学校での学び、これからの未来に向けた決意の言葉、まさに土小が目指す姿、「自分を知り自分を表現する」一人ひとりの言葉として受け止め、土小で学んだ証として卒業証書を手渡しました。

今、決意を述べてた姿と一年生で入学した時の姿とを比べると、見違えるほど大きく成長しましたね。君たちの変化と同じくらい、土小も大きく変わりました。君たちは、大規模改修前の土小を知っている最後の子供たちです。

校舎がオープンな形となると同時に、君たちの学びもオープンな形に変わってきました。

五年生の時は土地域にとって大切な農業に目を向けて、農家の皆さんに多くのことを教えていただきましたね。直売所に君たちが作ったポスターやレシピが置かれ、お金がぴたり合うようになったとか、売れ行きが良くなったとか、君たちの学びが農家の方々の役に立ったという声も聞こえ、うれしかったですね。

そして今年は、君たちの前の代の六年生から引き継いだ「土地域スマイルアップ大作戦」に期待が集まり、柏市観光協会から土小観光協会として、土地域の魅力を地域に発信して欲しいとの依頼を受けました。約九か月に渡って色々と調べ、試行錯誤を繰り返し、最後は土地域魅力めぐりツアーとして三日間で百人近い大人を案内したことは、本当にすごいことで、伝説となる土小の自慢です。

ツアーを作る中で、知っていることと、わかることと、説明できることの違いに気づきましたね。私も何度か説明を受けて、どういうことなの？と質問を返すと、再度調べに行く姿に出会いました。最初の頃は、面倒くさそうに調べに向かっていた姿が、後半になるとそうかそこわかっていなかったと、すぐに調べようとする姿に変わってきました。それは、だんだん土地域のことがわかってきて、面白くなり、伝えたくなったからですね。土地域の昔話を暗唱した人は、ただ文を覚える暗記だけでは昔話は伝わらない、昔話の舞台となった場所を知り、登場する人を知って、気持ちや背景などがわかって暗唱すると、聞いている人に伝わるのを体感しましたね。

「土地域魅力めぐりツアー」という学びは、土地域の素敵な魅力を見つけてツアーで伝えるというものですが、魅力を五つ見つけたら十個見つけたら良しというものではありませんね。そこにはこれができたら終わりといったゴールや正解は無く、土地域の魅力を伝えたい、わかってほしいと、土地域のことを自分事としてとらえて、調べて、わかって、伝えたいという、気持ちとか、熱が、君たちの中に生まれてきて・・・

だから1回目のツアーより2回目にもっと工夫して、「来てよかったとお客さんに思ってもらおう」という熱が一つになって、成功につながっていったのです。やっといこうというこの熱が、卒業式のテーマの一つ、「夢」を叶えるためには大事です。夢を叶えるためには、夢に向かう熱

量が大事なのです。観光協会で熱くなった経験は、覚えておいてください。

4月から中学生になります。さっき伝えてくれた夢を叶えるために試行錯誤しながら、熱量を高めて、そして「自律」して行って欲しいと願っています。

この自律とはどういうことでしょうか。自分を律すると書く自律。ちょっと考えてみてください。

「自分でなんでもできるようになる」「自分で責任もってやる」「人の手は借りない」

ってことでは無いのです。それは、「孤立」なのです。人は一人では生きていけません。

では、自立とはどういうことなのか？ これからどんどん大人になっていくと、どんなに熱量をもってがんばっていても、困ったこと、辛いこと、苦しいことと出会います。そういう時に、なにくそ！とがんばるでしょう。がんばっても頑張っても、辛く、苦しいことってあるんです。そういう時に、「助けて」「助けてください・・・」って言えること。自分ではなくて、友達がんばっても困っている、辛くなっていると感じたら、「何か手伝おうか」って手を差し伸べることができること。それが自律なのです。大人になるってということなのです。

夢に向かって自律してがんばるもの同士が、夢を叶えるために、苦しい中で、困っているから手を差し伸べ合ってつながる、だからそこにもう一つのテーマである「絆」が生まれるのです。

君たちが大人になるこれからの社会は、予測困難で、正解の無い課題に取り組んでいく社会だと言われていています。そこで大切になるのが、夢と絆です。

社会には色々な課題があります。その課題解決は、誰かがやってくれるもので、自分で何かをするものではない、と今の大人たちは考えがちです。社会の色々な課題は、自分の夢を叶えるためには邪魔になるものが多いです。だから早く誰かなんとかしてよ、と思うのですが、その課題を自分事として、夢を叶えるにはこの課題もなんとかしようという熱を持ち、お互いの熱を合わせながら、みんなで社会をつくる。熱量のある「夢」と弱さもわかってつながる「絆」の両方を持ち、絆で結ばれた人たちが集まる社会をつくる。そういう大人に自律して行って欲しいと願います。

この土地には、皆さんの学習に力を貸して下さった、本当に熱量を持った地域の方々がたくさんいらっしゃいます。お父さんやお母さん、先生たちも、熱いものをもって皆さんを応援しています。困ったり、辛かったりしたら助けてと遠慮なく言ってください。そのたびに、みんなで絆を深め合い、試行錯誤しながら、夢に向かう道と一緒に探していきましょう。土小観光協会は、これからの社会への入口だったのですよ。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様は最も多感な時期に入ります。子供を信じて、少し遠くから温かく見守ってください。そしていつまでも「子供があこがれる大人」でいて頂きたいと願います。そんな皆様の姿が子供たちを支えます。これまで本校にお寄せいただいたご理解とご協力に改めまして感謝を申し上げます。ありがとうございました。

そして、土小コミュニティ・スクールの基盤となり、子供たちの学びを支えてくださいましたご来賓の皆様、高いところから恐縮でございますが、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。さらに今後も本校の子供たちへの、熱量あふれるご支援ご指導をお願い申し上げます。

さあ、卒業生のみなさん、羽ばたきの時です。大きな空の、自分が目指す夢に向けて、大きく羽ばたいてください。土小学校の先生たちは、いつまでもいつまでも応援しています。土小の125回目卒業生として、自信を持って未来の社会を創る大人になってください。

令和六年三月十五日

柏市立土小学校 校長 梅 津 健 志